

情報連絡員報告・5月分

「人手不足」を懸念する報告が多数よせられる

<東京都中央会>

5月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに収益状況DI（前年同月比）値が好転した。製造業は売上高、業界の景況が連続して悪化、非製造業の業界の景況は若干好転した。「業界の声」からは『若年者の業界離れ・他業種への流出で労務不足が深刻化』、『物流業界の景気回復の影響か、運転手が人材不足』、『不況時の人材整理の影響で人材不足』等、人手不足を懸念する報告が多数よせられた。製造業64人、非製造業86人、計150人の集計

業界の声

特記事項欄より

「出版・印刷」

- ・7月から印刷用紙の10%値上げが主要製紙メーカーより発表された。今回はメーカーが不退転の姿勢であり、過当競争から抜け出せない印刷業界はますます苦境に立たされることが予想される。（印刷業）

「電気機器」

- ・原材料価格（銅・ステンレス）の上昇が止まらず、一方で価格転嫁が進まないことから収益圧迫気味。企業間でのバラツキがあるが景気上昇を反映してか、人手不足感もみられる。（配電盤機器製造業）

「その他製造業」

- ・連休明けから本格的に現場が稼働しはじめたが、それに伴い労務不足が深刻化しつつある。若年者の業界離れ・他業種への流出があり、このままでは8月のピーク時に納期遅れが発生する可能性が大きい。（ガス圧接業）

「卸売業」

- ・好転の兆しはみえず、ついに持ちこたえることができず廃業する問屋が続出している。この状況はいつまで続くのか、憂慮に耐えない。（玩具卸売業）

「小売業」

- ・天候不順で季節商品の販売が不調。収益が減少し、資金繰りが悪化している。（野菜・果実小売業）
- ・金額面で対前年を若干下回った。商品

別ではエアコン等の数量は伸長したが、他の商品は台数で前年割れが多い。薄型テレビも昨年は同時期に新モデルが発売されたこともあり、前年割れとなった。(電気機械器具小売業)

- ・3月から原油価格が大幅に値上りしていることを受け、石油化学大手は包装材料や汎用樹脂を値上げする方針を決めた。浸透すれば昨年11月以来半年ぶりの値上げとなり、相当のダメージが心配される。(包装材料小売業)

「サービス業」

- ・最近、運転手の人材不足が問題となっている。物流業界の景気回復の影響が。(廃棄物収集運搬業)

「建設業」

- ・これから盛夏にかけて、鉄筋工の不足

状態が厳しくなる。建設現場では工期不足が深刻化している。

(鉄筋加工組立業)

- ・先行きの見通しが良い反面、不況時の影響として設備と人材の整理により機材と人材が供給限度となり、不足になりだしている。(基礎工事業)

<要望事項欄より>

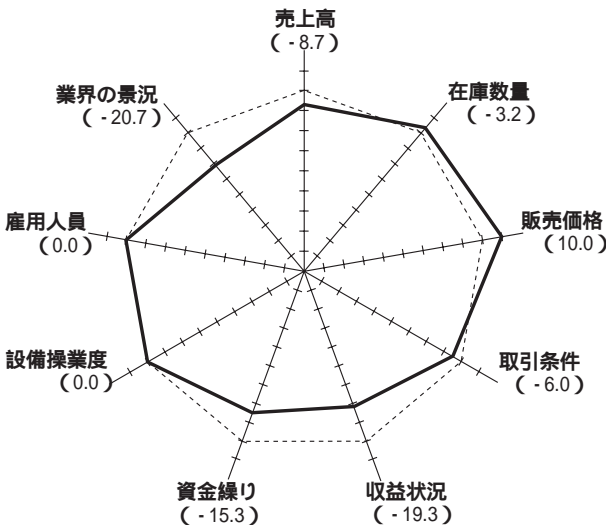
- *昨今、食育の活動が盛んに行われているが、テーマが広すぎて、的がしぼりにくい。行政には食育の具体的なテーマや指針を示してもらいたい。

(野菜・果実小売業)

- *未認証工場への立ち入り検査と不正改造や違法騒音マフラーの取り付けについて取締りを強化してほしい。

(自動二輪車小売業)

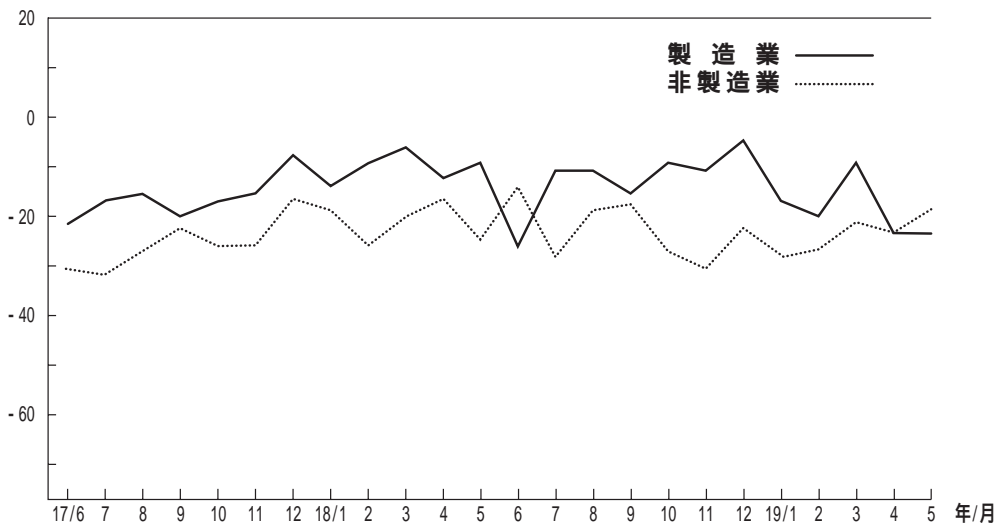
5月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

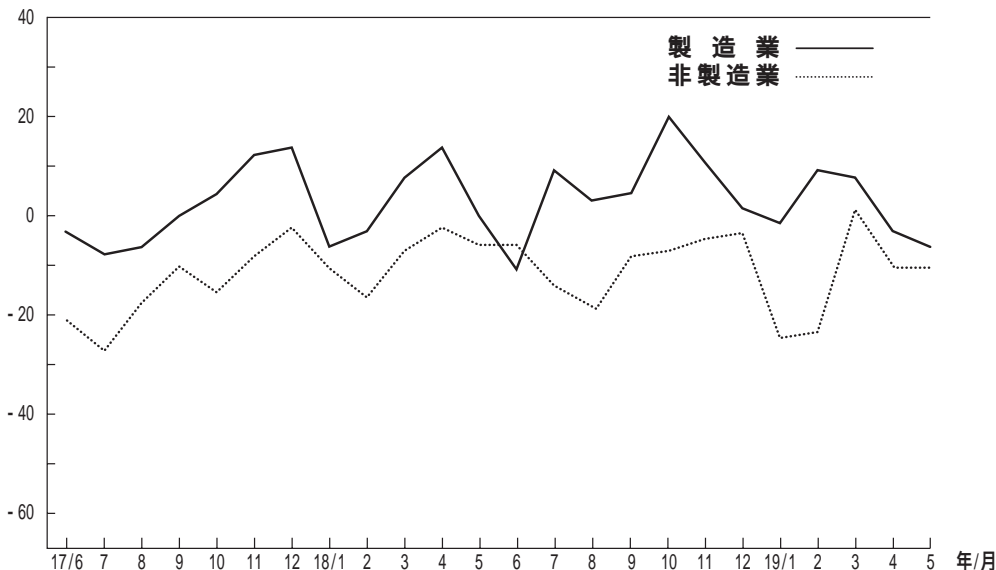
業界の景況DIの変化 (H17.6 ~ H19.5)

(前年同月比)



売上高DIの変化 (H17.6 ~ H19.5)

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。